

学校関係者評価報告

学校名 愛媛県立今治工業高等学校

評価実施日		平成31年2月27日(水)		
委員	氏名	所属等	備考	
		矢野直幸	学校評議員	
		長野加代	学校評議員	
		山本雅晶	学校評議員	
		藤枝晃	学校評議員	
		武田徳夫	学校評議員	
		木村隆仁	P T A 会長	
		山岡憲司	P T A 副会長	
		安野省二	P T A 副会長	欠席
		清水弘恵	P T A 副会長	
		松浦共伯	P T A 副会長	
	野間奈美	P T A 副会長		
評価・提言等		提言等に対する改善方策等		
<p>1 今年度の最終評価について</p> <p>(1) 学習指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ICTを効率的に活用し、現場の見える授業展開をして生徒の興味関心を引き出してほしい。 <p>(2) 進路指導</p> <ul style="list-style-type: none"> 技術の習得もだが、社会的マナーなど、即戦力になる人材の育成が行われている。 若者の離職率が問題になっているが、本校においてはどのようになっているのか。把握しているのか。対応に向けた指導をしてほしい。 <p>(3) 生徒指導</p> <ul style="list-style-type: none"> あいさつや身だしなみなど、基本的な生活態度を養う指導が十分になされている。継続してほしい。 スマートフォンなどの使用で、人間関係の構築の苦手な生徒が増えてきていると聞いている。社会人として行動できる生徒の育成をお願いしたい。 <p>(4) 特別活動</p> <ul style="list-style-type: none"> 熱心な活動状況である。今後も明るい話題を地域に提供できる活躍を今後も期待したい。 <p>(5) 工業教育推進</p> <ul style="list-style-type: none"> タオル産業が不況からブランド化で活性化したように、グローバルな造船界において活躍できる人材の育成を期待したい。 工業の現場の見える、現場とつながった指導に期待する。 <p>2 学校運営への提言</p> <p>(1) 地域が参加する教育、地域に参加する教育の場をどんどん作ってほしい。</p> <p>(2) ICT化が進んでいく中、自己肯定感や自信など、人間性の育成にも十分目を向けてほしい。</p> <p>(3) 生徒の生活態度を改善してきた努力は多大なものであったと考える。今後も継続してほしい。</p>		<ul style="list-style-type: none"> インターンシップの発表の際など、どの生徒もICT機器は使用しているが、更に体制も機器も充実させていきたい。 生徒の希望と企業の求める人材とが一致するよう更に努めていきたい。 フォローアップ事業を行い、追跡調査も実施している。まだ成果と呼べるものは出ていないが、継続し、課題解決に向けていきたい。 基本を重視し、安全教育も含めて、日常の様々な場面で機会を作って指導していきたい。 SNS の問題点などを繰り返し教えていくなどし、生徒がつまづくことの無いよう指導していきたい。 生徒の気持ちを汲んだ指導と社会性を養う指導を両立させながら、社会の変化に応じた指導を行いたい。 体育的部・文化的部・生産的部、すべてにおいて活力あるところを地域にアピールしていきたい。 SPH 事業などで、地域の協力を得て習得した技術を地域産業で発揮できるよう、今後も広がりを持たせたい。 マッチングフェアの成果が出てきているので、更に進めていきたい。 		
<p>(1) 地域企業や地域の方との連携を密にし、協力をあおぐとともに、小・中学校への出前授業など積極的に実施したい。</p> <p>(2) 人間性の教育をベースに、工業人として時代の流れにも対応できる人材の育成に努めたい。</p> <p>(3) 失敗を恐れない挑戦できる、たくましく生きる力を持った生徒の育成のための方策を考えていきたい。</p>				